

+ 三原赤十字病院



緩和ケア病床News

第6号 平成22年11月発行

緩和ケア推進委員会 事務局 地域医療連携課

病院ホームページに緩和ケア病床のご案内を掲載しました。

当院の緩和ケア病床を開設し、早いもので9ヶ月が経過しようとしています。この約9ヶ月で、多くの患者様やご家族との出会いと別れを経験してきました。

こうした中で、患者様やご家族より「三原赤十字病院でも緩和ケアを提供して下さるお部屋があるのですね。知りませんでした。」という声をかけていただくことが度々ありました。地域のニーズを把握しきれていなかったことや情報発信不足を反省するとともに、大きな期待を寄せられている事に気が引き締まる思いでいっぱいです。

また、そうしたときに、あるご家族より「ホームページで緩和ケア病床のご案内を掲載してはどうですか？」とアドバイスを頂きました。

こうしたアドバイスをいただきこのたび、病院ホームページに緩和ケア病床のご案内を掲載する事となりましたのでご案内いたします。

まだまだ、つたない内容ですが、これから少しずつ充実させていきたいと思っております。

ホームページのアドレス <http://www.mihara.jrc.or.jp/>

また、当院は平成22年10月1日に待望の病院増改築工事が完了しました。病院増改築に伴い、がん診療体制の強化を図り、放射線治療機器の整備や緩和ケア専用病床の整備を行いました。また、患者様やご家族のご自宅での生活を応援していくため、地域で在宅医療を実践していただいている先生方や訪問看護師・ケアマネジャーなどとの連携を図るための「在宅緩和ケア支援システム」を整備しています。



これからますます、総合的ながん診療体制の充実が求められてきます。より多くの地域住民の方の健康と充実した生活をご支援できるように職員一同頑張っております。今後ともよろしくお願い致します。

緩和ケア病床の担当薬剤師について

薬剤師 安井智一

三原赤十字病院の緩和ケア病床が稼動を始め8ヶ月が経過しました。薬剤師として、患者様やご家族へのご支援をする中で感じたことを紹介させていただきます。

最初に言い訳のようですが、私は緩和ケアの専任薬剤師ではありません。認定薬剤師も取得していません。このたび、服薬指導を担当していた病棟に『緩和ケア病床』が開設されたことにより、引き続き担当薬剤師となりました。

私は、緩和ケア病床担当薬剤師として支援を行う中で、基本的には各病棟における薬剤指導管理業務と同じだと考えています。当院では、各診療科においてガン患者様の診療が行われており、他の病棟においても緩和ケアは行われています。そのため、私以外の薬剤師も各病棟において緩和ケアに携わっています。



カンファレンスの様子

緩和ケアに関わる上で、私が意識している事は、薬の説明だけで終わる『取説薬剤師』にならないようにすることです。どうしても日常の服薬指導業務では、『取説薬剤師』になりがちですが、私は、「治療（鎮痛）効果の確認」「副作用のチェック・対策」「コンプライアンスの向上」などに注意をしながら行っています。

もう一つ、一層のチーム医療への参加を意識しています。多職種でのカンファレンスへ参加し情報の共有や意見交換などを行うことはとても大切なことであると感じています。また、病棟看護師との医療用麻薬に関する勉強会もより良い看護へ繋がっていると考えています。

緩和ケア病床での具体的な関わりとして「オピオイドローテーション」「TPN の処方変更」「ステロイドの使用・増量」などに取り組んでおり、患者様の症状緩和に少しでも役立つよう取り組んでいます。

今後の課題ですが、薬剤師と患者様・ご家族との信頼関係の構築です。ある患者様へ内服薬のことで説明や質問をしていると「何かあったらこちらから言いますのでいいです」と言われた事がありました。緩和ケア病床でゆっくり過ごしたいと考えている方の気持ちが分からず、業務的になっていたことを反省することもありました。こうした事を少しでも改善していき、患者様・ご家族から薬剤師への相談や訴えを直接いただけるように頑張りたいと思います。

そして、在宅緩和ケアへの関わりです。直接、在宅へ訪問することは難しいと考えていますが、退院時に薬剤師として支援や、かかりつけ薬局との『薬薬連携』へ関わっていきたいと考えています。



がん患者・家族の会「よつば会」のご案内

当院では、平成20年よりがん患者様やご家族からのご要望によりがん患者・家族の会「よつば会」を応援しております。

よつば会は、当院で治療を行っている患者様数名から、「孤独になりがちながん患者の集まる場所やお互いを励まし、情報を交換できる場所を作って欲しい」などのご要望があり、患者様数名と共に開設しました。

開設当初は、当院での治療を続ける患者様ばかりでしたが、現在では、他院で治療を続ける患者様のご参加もあり、とても活発に活動をしています。

よつば会の特徴は、運営や企画などは、会のメンバーが中心で行っていることです。また、当院では年に4回の勉強会やイベントと一緒に企画したり、会の運営のアドバイスをしています。

毎月 第4金曜日 13:30より当院会議室にて、よつば会のおしゃべりサロンを行っていますので、是非多くの患者様にご紹介下さい。

【問合せ】 0848-61-3812 地域医療連携課 直通電話

医療ソーシャルワーカーまで

お知らせ

緩和ケア病床の入院相談など緩和ケア病床に関する問合せ電話番号が変わりました！

【変更後】

0848-61-3812

緩和ケア病床 入院のご希望・ご要望について

■ 入院の対象となる方

癌などの悪性腫瘍の患者様で、痛みや病気によって起こるさまざまな苦痛の軽減などの緩和ケアを望まれる方が対象です。

患者様とご家族がともに緩和ケアについて理解され、入院をご希望されていることが重要です。

また、外来や入院中の方で痛みなどの症状コントロールが困難な患者様や、在宅緩和ケアを受けている患者様で、ご家族の旅行や冠婚葬祭やご家族の介護負担の軽減等の※レスパイトケアを目的とした入院も可能です。

- ・ 認知症状などのために、緩和ケア病床区域の静寂が保てず、他の患者様の生活に影響を与えるような場合は、一般病床への入院をお願いする場合があります。
- ・ 入院に際しては、医師・看護師・医療ソーシャルワーカーなどの多職種にて入院判定を行います。
- ・ 入院の順番は、入院の申込み順を基本としておりますが、病状によっては前後する場合があります。

※ レスパイトケア…ご自宅で生活をされている患者様の入院によって、ご家族の介護疲れを癒していただく事です。

緩和ケア病床での主な医療サービス

- ① 痛み・食欲不振・息苦しさ・だるさなどの身体のつらさの緩和。
- ② 患者様やご家族の不安や心配事などの心のつらさの緩和。
- ③ 治癒を目的とした、抗癌剤治療や延命治療などは行いません。しかし、緩和を目的とした抗癌剤や放射線治療を行います。
- ④ 症状緩和に必要な検査や処置・治療は患者様やご家族と相談させていただきながら行います。

■ 入院のご案内・ご相談・見学をご希望の方は

三原赤十字病院 地域医療連携課へご連絡下さい。

入院相談予約を取らせていただきます。入院相談では、医療ソーシャルワーカーが、病状やお困りの事などのお話を伺うと共に、緩和ケア病床の説明などを行います。

入院相談へは、ご本人もしくは病状をよく理解されている方にご来院いただければ幸いです。

緩和ケア病床 入院相談予約

地域医療連携課 医療ソーシャルワーカーまで

0848-61-3812 (直通)

発行担当者(問合せ先)

三原赤十字病院 緩和ケア推進委員会 事務局 地域医療連携課

〒723-8512 三原市東町二丁目 7-1

TEL:(0848)61-3812 (直通) FAX:(0848)64-8421(直通)